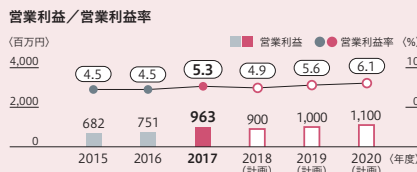
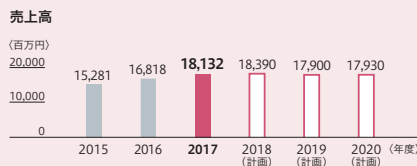


セグメント別業績概況

ブライダル事業



当期の業績

ハウスウェディングを中心とするブライダル事業の当連結会計年度の売上高は181億32百万円(前期比7.8%増)となりました。営業利益は9億63百万円(前期比28.2%増)となりました。



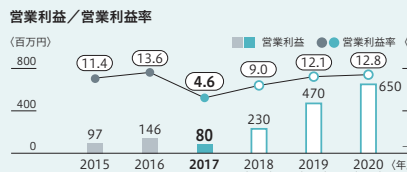
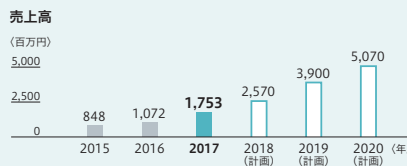
「KOTOWA 京都 中村楼」披露宴会場

今後の戦略

施設リニューアル、コンテンツ開発による競争優位性の確立を行うとともに、人材育成を通じたサービス品質の向上による差別化も図ってまいります。

さらに、ワタベウェディング株式会社との業務提携による、業界トップクラスの事業規模を活かしたシナジーを創出するとともに、ドレス・アルバムなどの周辺事業の内製化による原価率低減にも取り組み、売上・利益の拡大に邁進してまいります。2019年1月には鹿児島で3店舗目となるゲストハウスの出店も予定しております。

その他



当期の業績

保険・クレジットなどを主とするサービス事業と保育事業などを行うその他の事業の当連結会計年度の売上高は4月の「えがおの森保育園 かつしま」(東京都品川区)のオープンなどにより、17億53百万円(前期比63.5%増)となりました。



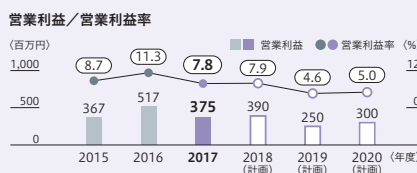
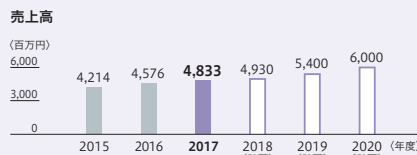
えがおの森保育園・かつしま

営業利益は80百万円(前期比45.2%減)となりました。

今後の戦略

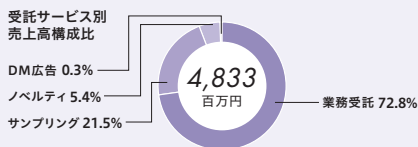
子会社である株式会社千趣会チャイルドケアは2018年4月に関西初の「えがおの森保育園・どうしん」を当社本社近隣に開園するとともに、当社が設置する企業主導型保育所『えがおの種保育園』の運営を受託いたしました。『えがおの種保育園』での運営実績をもとに、企業主導型保育事業の運営受託、開園までのコンサルティング等ビジネスの展開を視野に入れていきます。

法人事業



当期の業績

法人向けの商品・サービスを提供する法人事業の当連結会計年度の売上高は48億33百万円(前期比5.6%増)となりました。営業利益は3億75百万円(前期比27.5%減)となりました。



今後の戦略

当社通信販売事業の状況に伴い、広告事業や物販事業に大きな伸長が見込めない中、ECを中心とした通信販売市場の拡大に沿った、通信販売業務支援サービスの拡大が求められています。

特にフルフィルメントを中心とした物販や株主優待事務局等の受託メニューの充実に加え、事業改善等を支援するコンサルティングサービスといった質的サービスも強化し、多くの通信販売プレイヤーのニーズに応えてまいります。

Topics

ディアーズ・ブレインがワイズテーブルコーポレーションと業務提携

子会社の株式会社ディアーズ・ブレインは、全国でレストラン事業を展開する株式会社ワイズテーブルコーポレーション(以下Y's table)と業務提携を締結しました。これにより、Y's tableが運営するハイエンド業態レストラン「XEX(ゼックス)」の東京地区4店舗でのブライダル部門「XEX WEDDING」の運営を受託することとなりました。ディアーズ・ブレインが集客、接客、プランニング、衣装などを提供し、料理やサービスなど当日の運営は、Y's tableが提供します。

今回の提携により、「XEX WEDDING」のクオリティと魅力がさらに高め、両社のさらなる収益向上をめざしていきます。



「XEX 日本橋」

ニッセイファルマ・コスメティックスの株式を取得し社名をユイット・ラボラトリーズに変更

7月1日、日水製薬株式会社の子会社で化粧品製造・販売事業を手掛けるニッセイファルマ・コスメティックス株式会社(以下NPC社)の株式を取得しました。NPC社は、八ヶ岳を望む山梨県北杜市に拠点を構え、天然水を使用した健康と美しさをサポートするオリジナル自然基礎化粧品ブランド「リスプラン」を中心に、さまざまな販売ルートで事業を拡大しています。

今回の株式取得により、当社のコスメ部門の強化と拡大をめざすとともに、通信販売事業がもつ販売チャネルやプロモーションノウハウ、物流インフラなどを活用することで、グループ全体としてシナジー効果を見込んでいます。

また、八ヶ岳にちなみ、9月1日付で社名をフランス語で「8」を表す、株式会社ユイット・ラボラトリーズへと変更しました。



オゾンラファイアオイルシリーズ